

『家庭教育セミナー』のご報告

若葉小PTA会長
文化厚生委員会委員長

11月28日(火) 若葉小PTA文化厚生委員会主催『家庭教育セミナー』が行われました。講師には、子ども達に性教育の授業をしてくださっている「おさだしずさん」をお願いいたしました。簡単にお話しの内容と、参加者にご協力いただいたアンケートのお声等をご報告させていただきます。

子どもの命をまもる性教育～「こころ」と「からだ」のしあわせ講座～

◎子どもの命に直結するいじめや犯罪・SNS被害から守るために必要な知識とは？

◎授業では教えてくれない性の伝え方 ◎絵本からの学び

◎子どもの命に直結するいじめや犯罪・SNS被害から守るために必要な知識とは？

- 水着で隠れる部分とくちびるのことをプライベートゾーンとよぶ。
自分のからだでさわっていけないところはない。たとえ誰であっても自分が嫌だと思ったら嫌だと伝えていい。自分の感覚を大切にしてほしい。
- からだはひとりひとり違って当たり前。自分らしく生きることが大切。
- おうちの人・友達・知らない人、人との距離が大切。嫌だと思ふ距離は人それぞれ違う。
- こころのコップ ブラックハートとレッドハート
心がモヤモヤする・ざわざわする。そんな時はブラックハートがいっぱい。歌う・食べる・体を動かす・ゲームをするなど出し方は人によって違う。トイレと同じで我慢しない・出し方が大切。
すっきりしない時は信頼できる大人に相談する。
- 自分のつぶやいた発信は世界中の人が見ている。一度ネットにアップしたものはネットから消すことは難しい。SNSに画像をアップすること。スマホの危険を知ることが大事。

◎授業では教えてくれない性の伝え方

- いわゆる「はどめ規定」があるため、学校では妊娠に至る過程は取り扱えない。
- 子どもからのドキッとする質問にも包み隠さず淡々と答えられるように、体の変化に対する理解をまず親がきちんと知ることが大切。ごまかさず「お母さんも知らないから調べておくね」などと答えるのもいい事。
- 親自身に恥じらいがあることが多いので、口に出して慣れることが大事。

◎絵本からの学び

- 絵本の読み聞かせをすることで親子のコミュニケーションにも繋がる。
- 教科書では伏せている描写も優しいタッチでわかりやすく描かれているため読み聞かせの手段として使用できる。
- 絵本はマイルドに表現されている事もあり低学年や幼い子にもイメージが付きやすい。
- 初めは最後まで一度に読み聞かせようとせず、リビングに置いておいたり子どもが質問された時に該当のページを一緒に読むだけでもよい。

【アンケートより】

- 命の大切さ、自分らしさの大切さを、子供に伝えることから性教育につながっていくことを知りました。
- まずは「あなたが大事」という事を伝えることをしていこうと思いました。
- 子供への性への興味について“慣れ”という言葉があったのがとても参考になりました。
- いつか向き合おうと思っていましたが、後回しにしてしまっていたのでとても良いきっかけになりました。
- 今まで何となくはぐらかしていたり、主人任せにしてしまっていた部分がありましたが、母親である私自身が知識を増やして伝えていこうと思いました。
- 本日のセミナーの出席も女性が多数でしたが、男性の方に（我が家の夫含め）性教育が必要ではないかと思えます。